

事務事業評価シート

(H.28)No.	6085	(H.27)No.	6085
-----------	------	-----------	------

事務事業名	広域観光事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	観光交流室	松本 孝寿	

会計区分	事業コード	363502
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	観光振興対策費	
項 商工費	(小事業名)	
目 観光費	広域観光事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	3	広域観光戦略
重点施策コード		2-5.実践型地域雇用創造事業推進(なばり観光戦略の推進)	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
近隣市村との連携を強化し、幅広いメニューを備えた広がりのある観光ゾーンを形成し、一体的な観光戦略や情報発信を進めることにより、名張の魅力や知名度の向上を図り、より多くの観光誘客を目指す。
事業内容
東大和西三重観光連盟事業として、広域的な観光関連事業を行うことにより、近隣観光地との相乗効果による観光誘客を図る。 伊賀流忍者観光推進協議会を組織し、「伊賀流忍者」を情報発信するとともに、日本忍者協議会に加盟し、国内外への情報発信を行う。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	※H27よりNo.1263世界に誇る伊賀流忍者活用事業を統合 ・東大和西三重観光連盟負担金(観光キャンペーン6市村、東大和西三重観光ガイド印刷など) ・伊賀流忍者観光推進協議会負担金(伊賀流忍者観光推進協議会ホームページ、ロゴの管理及びPRの実施など)	・東大和西三重観光連盟負担金(観光キャンペーン6市村、東大和西三重観光ガイド印刷など) ・伊賀流忍者観光推進協議会負担金(伊賀流忍者観光推進協議会ホームページ、ロゴの管理及びPRの実施など) ・日本忍者協議会負担金(ホームページ等による情報発信)

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
・東大和西三重観光連盟負担金 ・伊賀流忍者観光推進協議会負担金 ・日本忍者協議会負担金	・東大和西三重観光連盟負担金 ・伊賀流忍者観光推進協議会負担金 ・日本忍者協議会負担金	・東大和西三重観光連盟負担金 ・伊賀流忍者観光推進協議会負担金 ・日本忍者協議会負担金

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	
①直接事業費	750千円	750千円	750千円	750千円	750千円	
内訳(千円)	国・県支出金					
	地方債					
	その他()					
	一般財源	(0) 750	750	750	750	750
人工数	職員	0.70人	0.85人	0.85人	0.85人	0.85人
	臨時職員等	0.10人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人
②概算人件費	(0千円) 5,490千円	7,310千円	7,310千円	7,310千円	7,310千円	
①+②総事業費	(0千円) 6,240千円	8,060千円	8,060千円	8,060千円	8,060千円	

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
東大和西三重エリア及び伊賀地域にある自然、歴史、忍者といった固有の観光資源を活用し、効果的な誘客を図ることができた。また、首都圏営業拠点である三重テラスと奈良まほろば館での2館連携観光キャンペーンを実施する等、広域的な観光PRを展開できた。	外国人旅行者誘致について、鉄道アクセス等の優位性を生かしていない。平成27年度に実施した観光資源開発事業(地方創生先行型交付金事業)の成果を活用し、外国人旅行者の誘客に努める必要がある。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	三重県と奈良県にまたがる広域観光ネットワークを活用し、東大和西三重地域全体をPRする取組を展開することで、集客の促進を図った。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	観光協会や青蓮寺湖ぶどう組合等と連携して観光キャンペーンを実施する等、圏域内の各地域への集客に努めた。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
近隣観光関連団体との連携を更に強化するとともに、広域連盟のメリットである多様な観光資源を生かし、外国人旅行者の誘致に向けて取組を進める。	名張市観光戦略 名張市エコツーリズム全体構想